

平成25年度決算特別委員会を設置

(市長提案の説明要旨)

平成25年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。

【一般会計】

歳入総額6億6億3千6百39万円、歳出総額5億7億7千7百64万円、実質収支は2億7千2百39万円となりました。

歳入では、市財政の根幹をなす市税が、企業収益の回復等に伴う法人市民税の大きな伸びなどから3年連続して前年度を上回りました。

歳出では、防災行政無線の増設や防災マップアプリの作成、名木百選の取り組み、学校や公共施設への太陽光発電設備の設置、認可保育園の施設整備費等の補助、スポーツ祭東京2013の開催、小平都市計画道路3・4・23号線の整備や橋梁の長寿命化修繕計画の策定、使用料等のクレジットカード納付の導入など、小平市第三次長期総合計画に沿った事業を実施しました。

財政状況としては、景気回復傾向の中で3年連続して市税収入の増がみられるなど、明るい兆しもみられるものの、民生費を中心とした歳出の増加が続いており、依然として厳しい財政運営となつていますが、将来に向けて基金残高の回復に努めるとともに債務残高を確実に減少させながら財政規律を守り、財政の健全性を確保しています。

政運営となつていますが、将来に向けて基金残高の回復に努めるとともに債務残高を確実に減少させながら財政規律を守り、財政の健全性を確保しています。

46人、要介護、要支援の認定者数は7千2百12人となり、ともに前年度より増加しました。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額81億3千4百13万円、歳出総額78億7千9百80万円、実質収支は2億5千4百33万円となりました。

歳入では、国民健康保険税が前年度に比べ1・0%、3千7百96万円の増となり、一般会計繰入金は前年度と同額の25億円を繰り入れました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ2・7%、3億4百28万円の増となりました。また高齢者医療や介護保険制度への支援に充てる後期高齢者支援金及び介護納付金は、高齢化が進む中で増加を続けており、前年度に比べ合計で約1億6千6百万円の増となりました。

【後期高齢者医療特別会計】 歳入総額35億1千3百93万円、歳出総額34億6千8百87万円、実質収支は4千5百6万円となりました。

歳入では、被保険者数の増などにより保険料が前年度に比べ約2千9百万円の増となり、歳出では、広域連合納付金の中に含まれる療養給付費負担金が1千9百万円の増となりました。

なお、後期高齢者医療制度の小平市の対象者は約1万9千3百人です。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額9億8千2百29万円、歳出総額10億5千5百55万円、実質収支は1億8千73万円となりました。

第1号被保険者数は4万6百

- 委員長 ○ 副委員長
● 一般会計決算特別委員会
● 山岸真知子 ○ 磯山 亮
● 佐藤 充 ○ 常松 大介
● 小林 洋子 ○ 坂井やすのり
● 佐野 郁夫 ○ 津本 裕子
● 日向美砂子 ○ 平野ひろみ
● 細谷 正 ○ 堀 浩治
● 宮寺 賢一 ○ 村松まさみ
● 幸田 昌之

政務活動費の領収書等をホームページで公開します

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円を掛けた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

各会派の平成25年度収支報告書や領収書等をホームページで公開しています。詳しくは小平市議会のホームページ (http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/) をご覧ください。

平成25年度 会派別収支状況

単位：円

Table with columns: 経費項目, 説明, 市議会公明党, 政和会, フォーラム小平, 日本共産党小平市議団, 生活者ネットワーク, 虹とひかり, みんなの党小平の会, 志政クラブ, 合計. Rows include 交付決定額 (A), 調査研究費, 研修費, 広報費, 広聴費, 要請及び陳情活動費, 会議費, 資料作成費, 資料購入費, 人件費, 事務所費, 支出合計 (B), 返還額 (A-B).

※1 平成25年7月に所属議員が1人減ったため、当初交付額2,160,000円から240,000円が減額となりました。

※2 会派結成により、8月分より交付されました。